

愛努語の世界

アイヌ語の世界
Language World of Ainu

文・圖 | 丹菊逸治 TANGIKU Itsuji
(北海道大學愛努・先住民研究中心准教授)

譯者 | 陳由璋 (政治大學民族學系博士生)

文責・圖 | 丹菊逸治 TANGIKU Itsuji
(北海道大学 アイヌ・先住民研究センター 准教授)

訳者 | 陳由璋 (政治大学民族学学科博士後期課程)



2013年から始まった「イランカラプテ」キャンペーンのロゴマーク。アイヌ語とアイヌ文様を組み合わせたデザインを使用し、アイヌ語の「こんにちは」で北海道の特色を押し出している。(出典:「イランカラプテ」キャンペーン推進協議会 <http://www.irankarapte.com/>)

2013年迄官學合作舉辦的irankarapte活動標誌。設計概念結合了愛努語與愛努紋樣。以愛努語的您好打造北海道的當地特色。(圖片來源:「イランカラプテ」キャンペーン推進協議 <http://www.irankarapte.com/>)

アイヌ語は世界中で同系統の言語が確認されていない「孤立した言語」です。まず、樺太方言・北海道方言・北千島方言に大きく分けるのが普通です。この3者の間では完全には意思疎通が困難だと思われます。各大方言にはさらにいくつかの下位方言があります。アイヌ語方言辞典(1964)では北海道で8地点の方言調査を行っています。

かつてオーストロネシア系説が唱えられたこともありますが根拠が弱く、現在では支持者はあまりいません。ただし古い時代にオーストロネシア諸言語と接触し、いくつかの特徴をとり入れたのではないかという仮説を提唱する言語学者は現在もいます。

愛努語為「孤立語」, 在全世界之中尚未被確認出有相同的系統語言。首先, 普遍來說大致可區分為樺太方言(譯者註: 日本稱庫頁島為樺太)、北海道方言、北千島方言。這三種方言之間被認為彼此要完全溝通無礙是有所困難的。各大方言之中另有數個下屬方言。愛努語方言辭典(1964)則在北海道8處地點進行方言調查。

過去曾有人提倡愛努語屬於南島語族(Austronesian languages)系統の説法, 但因根據薄弱, 現在則不太有人支持此説法。但是現在仍有語言學者提出假説, 提倡古代愛努語可能與南島語族各個語言有所接觸, 因而愛努語採納了南島語言的數個特徵。

北海道的地名ほとんどがアイヌ語

北海道的地名の大部分が「アイヌ語地名」つまりアイヌ語に漢字を当てはめたものです。札幌「sapporo<sat-poro乾く・大きな(川)」、手稲「teyne湿っている」、豊平「tuy-pira崩れた・崖」、帯広「obihiro<o-perperke-p河口・たくさん分岐している・もの」などです。なお、新千歳空港がある千歳(ちとせ)は日本語です。もともとはシコツ「si-kot「大きな・窪み」という地名でした。

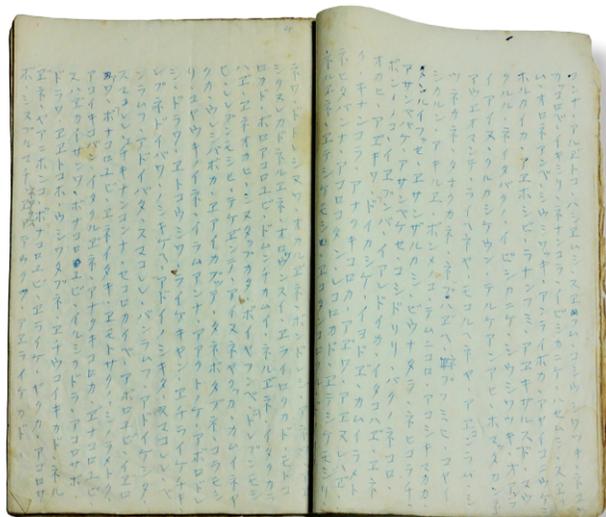
北海道的地名幾乎是愛努語

北海道的地名大部分為「愛努語地名」, 也就是將愛努語以漢字表示出來的地方。札幌「sapporo<sat-poro乾燥・大的(河川)」、手稲「teyne濕的」、豊平「tuy-pira崩壞的・崖」、帯広「obihiro<o-perperke-p河口・有很多分歧的・物(東西)」等。另外, 新千歳機場的千歳(ちとせ/chitose)是日語。原本的地名叫做shikoto「si-kot「大的・坑」。

3 女 16. woman, female		4 赤ん坊 baby
八	menokó; mátnekur; matáynu	téynep; pón 'ayay; 'áyay(少し笑うようになった頃)
幌	mát; menóko; kurmat(和人の)	sóntak; sí'on; pónpe; 'áyay
沙	menóko; mát; kúrmat(和人の)	pónayay; pónpe; sí'us
帯	menóko	sí'us
美	menoko	yarpe'oromap
旭	matáynu(成年の女子)	pón síspe~póysispe; yárpe(3,4歳まで)
名	mát; menóko	yárpe; téynep; sí'on; 'osús; pónpe(小さなもの)
宗	menéko	ténnep
樺	mahtekuh, -rihi	'uhu'asinpe; pontennehpo[老]; ponkennehpo[老]
千	turesh, mat(136); machi(162)	tem'nep(幼子 135)
5 子供 151. child, children[in general]		
八	hekáci; hekátar《子供たち》	
幌	hekátar; sí'on(かわいがってよぶ言葉)	
沙	hekátar《子供たち》(7,8-15,6歳); póyson(7,8歳迄); sí'on(かわいがってよぶ言葉); nokánkuru(大人に対する)	
帯	'ekáci(一人); 'ekátar《子供たち》	
美	'ekáci(一人); 'ekattar《子供たち》	
旭	yárpe; pón posta(男); pón 'opérekep(女); 'ekátar	
名	nokánkuru; 'ekátar《子供たち》	
宗	hekáci	
樺	hekáci(10歳前後); hekáci'utah《子供たち》; hacikoo ponhekáci(2-4歳); 'ahkapo(5-7歳)	
千	bonbo(135)	

「アイヌ語方言辞典」(1964 岩波書店)のページ。10方言が並べられている。一番下の「千」は北千島方言だが、このときには調査できなかったため、鳥居龍蔵の調査資料を再録した。

「愛努語方言辞典」(1964, 岩波書店)の書頁。有列出10種方言。最下の方の「千」は北千島方言, 但是此時因為無法進行調查, 故再度採用鳥居龍蔵の調査資料。



アイヌ語口承文芸の伝承者だった鍋沢元蔵氏（男性 1868-1967）のカタカナ直筆原稿。氏は1970年代に自らの伝承を独自のカタカナ表記によるアイヌ語で筆録した。

愛努語口傳文藝的傳承者鍋沢元蔵（NABEZAWA Genzou）（男性 1868-1967）的片假名手寫原稿。他於1970年代以獨自的片假名表記將自己的傳承用愛努語筆記下來。

話者数は非常に少ない

現在アイヌ語話者は非常に少なく、ある程度自由に話せるのは80歳以上の高齢者です。50歳くらいでも「アイヌ語を聞いたことがある」「短文・単語をいくつか知っている」という人は多いので、完全になくなってしまったわけではありません。húci「老婦人」、ekasi「長老」ape「火」、wakka「水」、iyayraykere「ありがとう」、などは若い人たちでも知っています。

言語復興はこれから

本格的な言語復興事業は開始されておらず、研究者およびほぼ独学で会話できるようになった人々は数十人いますが、それ以外に新たな話者はほとんど生まれていません。

能說愛努語者非常稀少

現在能講愛努語の人非常少，有一定程度能自由說愛努語的人為80歲以上的高齡者。即使是50多歲，也有很多人是「聽過愛努語」、「知道一點短文、單字」，所以愛努語並非完全消失。就算是年輕人也知道húci「老婦人」、ekasi「長老」ape「火」、wakka「水」、iyayraykere「謝謝」等愛努語。現在，愛努的物質文化研究界中，研究者不只要注意日本國內，也需要關注國外典藏這件事已為常識。因此，日本國內也開始舉辦國外愛努典藏的歸鄉展覽。

語言復興從現在開始

正式的語言復興事業仍未啟動，研究者以及幾乎以自學方式學會會話的人目前雖有數十人，但以外幾乎沒有培養出新的說話者。

現在まで研究者によって精力的に口承文芸の記録活動が行われており、たくさんの叙事詩 (yukar, sakorpe, hawki) や昔話、神話 (kamuyyukar, oyna) がアイヌ語で記録されました。それらの資料を用いて、言語の研究や口承文学の研究が行われています。アイヌ民族自身に言語の維持・復興への動きが全くないわけではなく、アイヌ民族の伝統的な儀礼 (先祖供養など) の際の祈り言葉はできるだけアイヌ語で唱えたいという人々もいます。また、言語復興の一環として口承文芸をアイヌ語で暗記して公演することもあります。一方、残念なことに日常会話の録音資料はあまり多くありません。また、言語復興運

至今為止研究者投入心力於口傳文藝的記錄活動，用愛努語記錄大量的敘事詩 (yukar, sakorpe, hawki) 或是故事、神謠 (kamuyyukar, oyna)。用這些資料進行語言研究或口傳文學的研究。愛努民族本身的語言維持 復興方向的並非全然毫無作為，也有很多愛努人在愛努民族的傳統性儀禮 (祖先供奉等) 時，想要盡可能用愛努語吟唱祈禱詞。另外，作為語言復興的一環，也有用愛努語背下口傳文藝後進行公開表演的情況。另一方面，很可惜的是沒有留下很多日常會話的錄音資料。此外，語言復興運動本身偏重於口傳文藝或儀禮的祈禱文句，幾乎沒有人在日常會話中使用愛努語。愛努文化復興 研究推進機關 (FRPAC) 受託許多國家



公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 (FRPAC) による「アイヌ語ラジオ講座」のテキスト (手前2冊) と、同財団発行のアイヌ語9方言の教科書。無料配布されている。

公益財団法人愛努文化振興・研究推進機構 (FRPAC) 所製作「愛努語廣播講座」的講義 (前面兩本) 與該財團法人發行的愛努語9種方言的教科書。目前無償提供中。

動自体が口承文芸復興や儀礼の祈り文句に偏る面があり、日常会話に用いる人はほとんどいません。国のアイヌ文化支援事業の多くを受託するアイヌ文化振興・研究推進機構（FRPAC）主催による「アイヌ語弁論大会」においても「口承文芸部門」（暗記が主流）は数十人の出場者がいる一方で、「弁論部門」（作文して演説）では数人です。

言語復興はまだまだこれからですが、各地で少しずつ新たな取り組みが始まっています。二風谷ではマオリ語で成果をあげたte-atarangiを部分的に導入しています。年長者と年少者の間で1対1の学習を行う人もいます。

言語構造

母音はaeiouの五母音、子音はptkcsrmnhyw'の12個、日本語、チュクチ語、オーストロネシア諸語と似て比較的簡単な音素体系です。形態素には単音節傾向が強いのですが、単語レベルでは多音節語がたくさんあります。複統合性が高く、かなり大きな動詞複合体を形成することができます。



アイヌ語口承文芸の伝承者だった砂澤クラ氏（女性 1897-1990）がアイヌ語で書き残した思い出話「私の一代の思い出」（1983 みやま書房）。体験談を子孫に残すのはアイヌ民族の重要な伝統。口頭で残すのが本来だが、現代で筆録によることもある。

愛努語口傳文藝傳承者砂澤クラ（SUNAZAWA Kura）（女性 1897-1990），用愛努語寫下想留下的回憶內容的著作《我這一代的回憶》（1983 MIYAMA書房）。留給子孫的經驗談是愛努民族重要的傳統。雖然本來是透過口說方式留下內容，但現代也有用筆記方式記載下來的情况。

的愛努文化支援事業，該機關所辦「愛努語辯論大賽」之中，「口承文藝部門」（主要為背誦）參賽者有只有數十人，另一方面「辯論部門」（寫文章後演說）也只有數個人。

語言復興仍是今後開始著手的部分，但是各地已經有開始一點一滴進行新的投入工作。在二風谷則導入部分毛利語推動成果的te-atarangi。也有人進行年長者與年輕人之間的一對一學習方式。

言語構造

愛努語母音為aeiou五個母音，子音則有ptkcsrmnhyw'12個。與日語、楚科奇語、南島語族各語相近，音素體系相較簡單。語素（Morpheme）則單音節傾向強，但單字等級則有很多多音節語。複數統合性（Polysynthesis）高，可形成相當大的動詞複合體。



yaykotuyumasiramsuye「よく考える」<yay「自分」ko「～に対して」tuyma「遠く」si「自分の」ram「魂」suy「揺れる」e「他動詞形成接尾辞」

文字表記

伝統的には文字はありませんでしたが、江戸時代には日本人が植民地支配のためにカタカナで表記していました。当時アイヌ民族自身が残した文字記録だと確実に分かっているものはありません。近代化以降は宣教師・研究者を中心にローマ字が用いられ、またカタカナで独自の表記を行う人々もいました。現在ではローマ字・カタカナの両表記法が通用しています。日本語のカタカナには子音のみの音節を表記する方法がないので、小文字を提案して用いています。

白糠生まれの四宅ヤエ氏（女性 1904-1988）の録音資料を文字化、日本語訳を付した。CD付きの3冊本としてアイヌ文化振興・研究推進機構から刊行された。

白糠出身の四宅ヤエ（SHITAKU Yae）（女性 1904-1988）の録音資料，在文字化後，附上日語翻譯的書籍。三本書附CD，由愛努文化振興 研究推進機構出版發行。

yaykotuyumasiramsuye「仔細考慮」<yay「自己」ko「～對於」tuyma「遠處」si「自己的」ram「靈魂」suy「動搖」e「他動詞形成接尾詞」（譯者註：「他動詞」為日語文法用語，中文又稱為「及物動詞」，相對概念為「自動詞」，又稱為「不及物動詞」）。

文字表記

傳統上愛努語是沒有文字，江戸時代時日本人為了支配殖民地故以平假名表記愛努語。但無法確實得知是否為當時愛努民族自身所留下的文字記錄。近代化後以傳教士、研究者為中心，使用羅馬字表記，另外也有人採用片假名進行獨自的表記方式。現在則是羅馬字 片假名兩種表記法都通用。日語的片假名中音為沒有只表記子音音節的方式，故提案使用小寫文字表記。

北海道大学アイヌ・先住民研究センターの看板には名称が日本語・英語・アイヌ語（ローマ字・カタカナ）で併記されている。

北海道大学愛努 先住民研究中心の看板、名称則採日語、英語、愛努語（羅馬字 片假名）併記的方式。



アプ apu 「流氷」
アッ° ap 「釣り針」

パラ para 「幅が広い」
パラ par 「口」

大文字プはpu、大文字ラはraを表し、小文字ッ° はpだけ、小文字ラはrだけを表します。このような小文字カタカナはアイヌ語だけの特別な文字です。ですから、アイヌ語には独自の文字体系があるとも言えます。

なお、ローマ字表記では、cは英語のchの音を表します。古い文献ではchと表記されています。sとshに音韻上の区別はありません。現在ではsに統一されています。古い文献ではsとshが区別されていることもあります。単語内で音が高くなる位置は決まっていますが、例外的に高く発音される場合はアクセント記号で表示されています。

アプ apu 「流氷」
アッ° ap 「釣り針」

パラ para 「幅度寬的」
パラ par 「嘴」

大寫のプ表示pu、大寫のラ表示為ra、小寫のッ° 則只表示p、小寫的ラ則只表示r。像這樣小寫的片假名是愛努語才有的特殊文字。因此，愛努語可以說具有獨自的文字體系。

還有，以羅馬字表記時，c表示英語的ch的音。古文獻中則被表記為ch。s與sh在音韻上並無區別。現在則統一為s。古文獻中亦有出現區別s與sh的情況。單字內有固定音調提高的位置，但發音升高有例外情況時則以音調記號（accent mark）表示。

簡単な会話（道南西部方言）

irankarapte 「これからご挨拶を申し上げます」
iyayraykere 「ありがとう」
kéra an 「美味しい」
paye=an ro 「行きましょう」
apunno mokor yan 「おやすみなさい」
tanpe eci kore na! 「あなたにこれをあげます」
pirka 「美しい／よかった」
ku=rehe 「私の名前は…」 ◆

簡單的會話（北海道西南部方言）

irankarapte 「現在開始向您問好」
iyayraykere 「謝謝」
kéra an 「好吃／好喝」
paye=an ro 「我們走吧」
apunno mokor yan 「晚安（告別時）」
tanpe eci kore na! 「這個我給你呦！」
pirka 「美麗／好的」
ku=rehe ... 「我的名字叫…」 ◆

作者簡介 | プロフィール

丹菊逸治（たんぎく いつじ）

東京大学フランス文学科卒業・千葉大学大学院修了・文学博士。

専門は口承文芸論。特にアイヌ語アイヌ文学、ニヴフ語ニヴフ文学。2011年より北海道大学アイヌ・先住民研究センターに准教授として勤務。公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構のアイヌ語教材事業にも協力している。アイヌ語アニメ『オルシペ・スウォップ』（Oruspe Suwop）（2012）の「ルロアイカムイ」（Ruroaykamuy）および『オルシペ・スウォップ2』（2013）の監修。また同財団のアイヌ民話撰集『イソイタク2〜4』（Isoytak）（2014〜2017）編集委員。近著としては「SFあるいは幻想文学としてのアイヌ口承文学」岡和田晃編『北の想像力』（寿郎社 2014）、「干し魚・ニヴフ人の幸せの象徴」永山ゆかり・長崎郁編『シベリア先住民の食卓』（東海大学出版部2016）など（すべて共著）がある。



丹菊逸治 TANGIKU Itsuji

東京大学法文学部卒業。千葉大学研究部結業。文学博士。

専門は口承文芸論。特別是愛努語愛努文學、尼夫赫語尼夫赫文學。2011年起任職於北海道大學愛努・先住民研究中心准教授。亦協助公益財団法人愛努文化振興・研究推進機構的愛努語教材事業。負責監修愛努語動畫『オルシペ・スウォップ』（Oruspe Suwop）（2012）的「ルロアイカムイ」（Ruroaykamuy）以及『オルシペ・スウォップ2』（2013）。另外擔任該財團法人的愛努族民話撰集『イソイタク2〜4』（Isoytak）（2014〜2017）的編輯委員。近期著作有〈做為SF或是幻想文學的愛努族口傳文學〉岡和田晃編『北方的想像力』（壽郎社，2014）、〈魚乾・尼夫赫人的幸福象徴〉永山ゆかり・長崎郁編『西伯利亞原住民的餐桌』（東海大學出版部，2016）等（以上皆為共著）。